

建設文教委員会

開催日	令和4年3月10日
時間	午前9時30分～午後0時09分
場所	委員会室
出席議員	富田 雄二、松岡 繁知、成田 義之、白井 章 伊藤 嘉起、飛永 勝次、山内 徳彦 (浅井 泰三副議長)
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 河口企画部長 石黒企画部次長兼人事秘書課長 後藤企画部次長兼企画政策課長 岩田総務部長 飯田総務部次長兼財産管理課長 服部財政課長 永渕建設部長 松村建設部次長兼土木課長 長谷川建設部次長兼都市計画課長 大橋建設部参事 兼松建設部参事 川村土木課課長補佐 木村土木課課長補佐 佐藤都市計画課課長補佐 中野上下水道課課長補佐 前田新清洲駅周辺まちづくり課長 齊藤教育長 加藤教育部長 西尾教育部参事 吉野学校教育課長 大沼学校教育課課長補佐 瀬尾学校教育課課長補佐 辻生涯学習課長 藤田生涯学習課課長補佐 柴垣生涯学習課課長補佐 浅野スポーツ課長 石田スポーツ課主幹 吉田学校給食センター管理事務所長 鈴木学校給食センター管理事務所所長補佐
関係職員	栗本議会事務局長 高山議事調査課長 鈴木議事調査課係長
議案または協議事項	1. 建設文教委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

皆さん、おはようございます。

ただいまから建設文教委員会を開催いたします。

なお、上下水道課長につきましては、病気療養中のため欠席ですので、御報告いたします。

去る4日の本会議において建設文教委員会に付託となりました議案について御審議いただくわけですが、その前に浅井副議長から御挨拶を受けたいと思います。

浅井副議長。

副議長 (浅井 泰三君)

おはようございます。

議長に代わり御無礼します。

付託されました案件、十分に御審議いただければと思います。

よろしくお願いします。

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

どうもありがとうございました。

続きまして、市長から御挨拶を受けたいと思います。

市 長 (永田 純夫君)

おはようございます。

二、三日前から急に暖かくなりまして、春も近いなという、そんな感じでございますけども、委員の皆様方には大変お忙しいところ、建設文教委員会への御出席大変御苦労さまでございます。

コロナのほうにつきましては、ピークは過ぎておるんですけども、なかなか感染者が思うように減少しないということで気をもんでいるところでございますが、ワクチンのほうは3回目の接種も順調に進んでおりまして、今週から5歳から11歳の子どもたちの接種も始まっております。最初は予約が埋まらんかったんですけども、今、開けておる予約は全て埋まったということで、ほっとしているところでございますけども、まだ、感染者が多い状況でございますので、市民の皆様方には引き続き、感染防止対策をしっかりと取っていただきますように、これからも啓発をしまいたいと思っております。

本日付託になりました案件につきまして慎重に御審議を賜り、全ての案件につきまして御賛同賜りますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

よろしく申し上げます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

どうもありがとうございました。

傍聴者はおみえですか。

議事調査課係長（鈴木 栄治君）

一般傍聴者の方はおみえになりません。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

当委員会に付託された所管は、建設部と教育委員会の各所管です。

審議日程といたしまして、本日、建設部の審査をいただきまして、明日、教育委員会の審査をしていただきますが、いかがでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、最初に、議案第2号 令和4年度清須市一般会計予算案について、所管ごとに歳入歳出続けて説明をお願いいたします。

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課長の前田です。

議案第2号について、建設文教常任委員会建設部所管分を御説明いたします。

一般会計・特別会計予算書及び説明書の6ページをお開きください。

第2表 地方債です。

建設部所管につきましては、上から3行目から6行目までとなっております。

起債の目的及び限度額で、道路等整備事業は、限度額2千800万円です。

清洲駅前土地区画整理事業は、限度額1億3千800万円です。

新清洲駅北土地区画整理事業は、限度額2億5千600万円です。

新清洲駅付近鉄道高架整備事業は、限度額3億1千100万円です。

続きまして、歳入について御説明をいたします。

16ページ、17ページをお開きください。

一番下の表で、14款使用料及び手数料、1項使用料、6目土木使用料、本年度6千619万

1千円、1節道路橋梁使用料と1枚はねていただきまして、18、19ページをお開きください。
2節都市計画使用料で、主なものは、水の交流ステーション使用料72万円です。

同じく、7目消防使用料、本年度278万1千円、1節消防使用料のうち建設部所管は、庄内川水防センター使用料140万5千円です。

続きまして、2項手数料、3目土木手数料、本年度76万1千円、1節都市計画手数料で、主なものは、屋外広告物許可手数料76万円です。

1枚はねていただきまして、20、21ページをお開きください。

下の表で、15款国庫支出金、2項国庫補助金、5目土木費国庫補助金、本年度7億1千882万円、1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金で、主なものは、1節のうち道路メンテナンス事業補助金5千500万円、1枚はねていただきまして、22、23ページをお開きください。2節のうち踏切道改良事業補助金3億6千9万1千円です。

1枚はねていただきまして、24、25ページをお開きください。

下の表で16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金、本年度2千340万3千円、1節農業費補助金のうち建設部所管は、1枚はねていただきまして、26、27ページをお開きください。単独土地改良事業補助金840万円、緊急農地防災事業補助金782万1千円、多面的機能支払事業補助金209万1千円、排水機維持管理事業補助金366万3千円です。

同じく、6目土木費県補助金、本年度3千419万7千円、1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金で、主なものは、あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金500万円です。

続きまして、3項県委託金、1枚はねていただきまして、28、29ページをお開きください。
4目土木費委託金、本年度70万円、1節都市計画費委託金です。

続きまして、1枚はねていただきまして、30、31ページをお開きください。

下から2つ目の表で、19款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、本年度20億473万9千円、1節基金繰入金のうち建設部所管は、都市計画施設基金繰入金3億円です。

1枚はねていただきまして、32、33ページをお開きください。

一番下の表で21款諸収入、5項雑入、2目雑入、本年度11億5千951万3千円、1枚はねていただきまして、34、35ページをお開きください。5節農林水産業費雑入のうち建設部所管は、土地改良施設維持管理適正化事業交付金2千790万円です。

1枚はねていただきまして、36、37ページをお開きください。

7節土木費雑入で、主なものは、新清洲駅付近鉄道高架事業用地補償金1億5千600万円で

す。

同じく、8節消防費雑入のうち建設部所管は、庄内川水防センター光熱水費負担金56万1千円です。

続きまして、22款市債、1項市債、3目土木債、本年度7億3千300万円、1節道路橋梁債と2節都市計画債で、主なものは、新清洲駅付近鉄道高架整備事業債3億1千100万円です。

以上が、建設文教常任委員会建設部所管分の歳入でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村土木課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

土木課長の松村です。

続きまして、歳出について説明させていただきます。

74、75ページをお開きください。

4款衛生費、3項上水道費、1目上水道費、本年度1億239万1千円、18節負担金、補助及び交付金と23節投資及び出資金でございます。主なものは、水道事業会計出資金の1億円でございます。

1枚はねていただきまして、76、77ページをお開きください。

6款農林水産業費、1項農業費、4目農地費、本年度1億3千224万5千円、7節報償費から18節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、土地改良費7千783万円でございます。

2枚はねていただきまして、80、81ページをお開きください。

8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、本年度1億256万9千円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、土木事務費225万9千円でございます。

2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費、本年度1千75万2千円、11節役務費から18節負担金、補助及び交付金まででございます。

2目道路維持費、本年度3億6千708万5千円、10節需用費から15節原材料費まででございます。主なものは、道路維持補修費2億3千595万6千円でございます。

3目道路新設改良費、本年度5千849万5千円、10節需用費から1枚はねていただきまして、82、83ページをお開きください。21節補償、補填及び賠償金まででございます。主な

ものは、市道西田中蓮池線等整備費 5 千万円でございます。

4 目橋梁維持費、本年度 1 億円、1 2 節委託料と 1 4 節工事請負費でございます。主なものは、橋梁維持補修費 9 千万円でございます。

3 項河川費、1 目河川総務費、本年度 1 千 2 6 5 万 5 千円、1 0 節需用費から 1 8 節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、五条川ふるさとの川管理費で、7 3 8 万 8 千円でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川都市計画課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

それでは、引き続き、都市計画課より説明させていただきます。

4 項都市計画費、1 目都市計画総務費、本年度 2 億 1 千 8 4 5 万円、1 節報酬から 1 8 節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、都市計画事務費 4 千 7 8 万 8 千円、民間木造住宅耐震改修費補助金 8 0 0 万円でございます。

1 枚はねていただきまして、8 4、8 5 ページをお開きください。

2 目土地区画整理費、本年度 1 0 億 2 千 1 4 4 万 1 千円、1 節報酬から 2 1 節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものは、新清洲駅北土地区画整理費の土地区画整理事業費 7 億 7 千 7 1 5 万 8 千円でございます。

3 目街路事業費、本年度 2 千 1 7 6 万円、1 0 節需用費から 1 6 節公有財産購入費まででございます。主なものは、街路管理費 1 千 8 8 2 万円でございます。

4 目鉄道高架費、本年度 9 億 9 千 4 9 7 万 7 千円、8 節旅費から 2 1 節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものは、西市場廻間線等整備費 4 億 9 千 5 7 万 6 千円でございます。

5 目公共下水道費、本年度 1 0 億 1 千 8 5 3 万 2 千円、1 0 節需用費から 1 枚はねていただきまして、8 6、8 7 ページをお開きください。2 3 節投資及び出資金まででございます。主なものは、下水道事業雨水処理負担金 4 億 5 千 1 1 6 万 9 千円でございます。

6 目都市下水路費、本年度 3 千 2 4 5 万 6 千円、1 0 節需用費から 1 4 節工事請負費まででございます。主なものは、都市下水路等整備費 2 千万円でございます。

7 目公園費、1 億 5 千 6 8 7 万 1 千円、1 0 節需用費から 1 4 節工事請負費まででございます。主なものは、都市公園管理費 8 千 9 6 3 万 6 千円でございます。

9 款消防費、1 項消防費、1 枚はねていただきまして、8 8、8 9 ページをお開きください。

4目防災対策費、本年度1億4千114万2千円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金まででございます。建設部所管としましては、庄内川水防センター費445万9千円でございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ただいまから審議に入るわけですが、質疑者、あるいは答弁書は必ず挙手をしていただき、指名の後、名前を名のってから、質疑、あるいは答弁に入ってくださいますようお願いいたします。

なお、質疑についてはページごとに行います。

それでは、歳入の6ページ、ございませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは、歳入のほうの16、17ページ、ございませんか。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

次に、18、19ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

20、21ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

22、23ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

26、27ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

次に、28、29ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

30、31ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

34、35ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

36、37ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

それでは、歳出のほうで、74、75ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

次に、76、77ページ。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

次に、80、81ページ。

飛永委員、前のところですか。

76、77ページ。

飛永 勝次委員

おはようございます。飛永です。

ちょっと教えていただきたいんですけども、土地改良費の中の多面的機能支払対策費であるんですけども、この多面的機能というのは何を指しているんですか。

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

松村土木課長。

建設部次長兼土木課長 (松村 和浩君)

多面的事業とはですね、高齢者や困窮化している農地の機能保全の低下が見られるということで、管理が困難になっているというところで、農業施設の良好な保全と環境保全を高めるために、地域ぐるみで農業を保全する活動をするというような事業でございます。

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

飛永委員。

飛永 勝次委員

農業を支援、推進するための、それを多面的にカバーしていくと、そういう意味ですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村土木課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

委員おっしゃるとおりでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

その下の緊急農地防災事業というのは何を指している。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村土木課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

この緊急農地防災事業というのは、福田川に架かっている甚目寺の第二排水機場というのがございますけども、こちらのほうがメンテナンスをするということで、ポンプの整備等をしております。その負担金でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに、76、77ページ、ございませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

では、次に、80、81ページ。

白井委員。

白井 章委員

白井です。

81ページの中ほどにあります地籍調査費について伺います。

これは国土調査法に基づいて、現況に合った正確な地籍簿、地籍図の作成ということで進めら

れていますけども、113万4千円の予算が上げられておりますけれども、これは長畑と蓮花寺の地区ということですので、地籍調査というのはスタートしてから完了するまで相当な期間がかかるということでもあります。今回の令和4年度の予算は、地籍簿と地籍図の修正をするということですから、今年度で完了ということによろしいのでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村土木課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

この地籍調査の費用ですけども、委員おっしゃるとおり、蓮花寺と長畑地区の地籍調査になるんですけども、今年度、従来のところをさせていただきました。

測量した成果が正しいかどうかと、そういったものでは意見等がございますと、地籍簿とか測量を再度しなければいけないというところがございますし、地権者の了解が得られずに測量ができてないところがありますので、そういったところを何とか少しでも減らしたいということで、令和4年度も引き続き、そういったところを何とか減らしていきたいということで、今回、予算を上げさせていただいております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

完了ではないんですね。完了が100とすると、今どのぐらい進められているんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

7割から8割ぐらい終わっているかと思います。本当にもう少しかなというところでございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

そうしますと、再来年ぐらいに完了というようなことになるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

その予定でいきたいと思っております。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

そうしますと、その2地区が終われば、それ以降のことですね、地籍調査の進捗率が全体的に低いんですよね。本市も上げていかないかんと思うんですけど、そういう計画とか予定はされてるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

完了のメドが立ってないものですから、次のというところは、今のところ計画にはございません。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

ちなみに、進捗率はどのぐらいですか。少し前にお聞きしたら、7%から8%ということでしたけど、愛知県全体でも低い数字になってますけど、本市はどうでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

地区も増えてございませんので、特に増えてはおりんと思えますけども、ただ、区画整理等が

学校橋は終わっているのかな。新橋等が終わると、地籍調査じゃないですけども、測量の面積的には増えるかと思います。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

ありがとうございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに、80、81ページ、ございませんか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

道路維持費のところについて何点かお聞きします。

主要施策の概要の229ページになるんですけども、まず、道路ストック点検費というところで3千万円の予算が計上されておまして、市が管理する道路の利用者及び第三者の被害を防止し、効率的に修繕工事を行うため、点検を実施した上で修繕計画を策定するとありますけれども、具体的には、これはたしか道路の優先順位を決めて、計画をつくって順番に修繕をしていくというようなことを以前に聞いたことがあるんですけども、そういった内容でよかったですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

道路ストック点検につきましては、道路の傷み具合ですね、そういったものを調べるものと照明灯の点灯、灯火しないということで点検をする2つがございまして、今年度でいきますと、道路の点検につきましては市道の30キロ、街路灯とか照明灯につきましては300基を点検する予定でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

2番は道路維持管理費とあるんですけども、これとの関連性とかというのはどういうふうに理解したらいいんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

これにつきましても、点検結果に基づいて、修繕する道路と年間維持的にどうしても道路が壊れたりとか、道路施設が破損等をして修繕しなければいけませんので、そういった費用をここで計上させていただいております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

もう一回最初の質問に戻りますけど、計画を策定して計画書を出すと国から補助金が出るという仕組みになっていると思いますが、その計画を策定する際に修繕を必要とする道路の優先順位の決め方が、たしか何かそちらでつくっていらっやっったと思うんですけども、に関してはどのようなお考えで進められておるかお聞きします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

基本的には、1級、2級とその他路線とございますので、1級、2級から順番にやるということで計画はさしております。

点検した結果、非常に悪いところです、そういったところをメインに、ある程度の延長で整備したほうが効果的だろうということで、そういったところの整備でいたしております。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

1級、2級ていうのはどんな道路なんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

例えば、1級ですと、都市計画決定されている結構広い道路ですね、12メートル以上のような道路になるかと思えます。例えばですと、新川の福祉センターからアルコのほうに行く道が1級路線になります。

2級につきましては、それよりもちょっと格が落ちる、結構、地区を結ぶような路線になるかと思えます。

その他は、本当にそれを除いた区域ということになるかと思えます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

では、これは1級、2級もその他の道路も、計画がつくってあれば国から補助金が出て、修繕が必要なところは修繕できるという理解でいいですかね。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

おっしゃるとおり、そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

以前、僕は計画を見せてと言ったんですけども、ありますと言いながら一度も見せてもらってないんですけど、どういうことかな。

これは置いといて、1級、2級の道路というのは大きな幹線道路で、市内・市外を結ぶ、輸送にもよく使われるような幹線道路になるので、危険性がないように常時点検て分かりますけれど

も、2級に関しても地域を結ぶということなので分かりますが、その他の道路の部分でなかなか手入れが行き届いとらんという話をよく聞くんです。その他の道路って何ですかというと、やっぱり市民の皆さんの生活道路であったり、高齢者の方がたまに歩く道路だったり、そうすると市民の安全というのをどんなふうに見てらっしゃるのかなという疑問が出てくるっていう声をよく聞きます。

その反面、今、区画整理をやって、新しい町並みをつくって、きれいなまちをつくるということと進んでいる部分があるのは理解はできるんですけども、市民の方が今まで使ってきた、これからも使っていく道路が傷んどるところに手がなかなか届いてないという現状に関してどんなふうに使われますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

どうしても道路を造られた時代からいくと、清須市も350キロ以上ございまして、大半が生活道路ということで、非常に延長があるということございまして、限られた予算の中で順次進めていくということですので、本当に悪いところから順次やっていきたいと思っておりますので、なかなか進められないと思うんですけども、その辺、計画的にやっていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

以前、土地改良したりとか、区画整理したところの道路が非常に傷んでいるという話を私も何回かさせてもらったことがあります。非常に使用頻度の高い道路になっていて、その地域の産業とか、そういったものを支える道路でもあるので、道路の分け方が僕は、それでいいんですかっていう感じがするんですが、何回か声を出させてもらっています。以前、区画整理したところだと当然使用してますから傷んできますよね。そういったこともちゃんと見ながら新しいまちづくりもしっかり予算確保しながらやってほしいと思うんですけども、今回3億1千万何がしの予算が計上されていて、そのうち国から頂けるお金が5千万円だと。地方債が2千800万円発行される。一般財源が2億3千800万円と。ですから、この5千万円の補助率というのは、計画で

全体予算をこれだけですから何%くださいという仕組みになつとるんですかね。そうすると、計画が大きくなれば大きくなるほど補助金が増えるみたいな、そんな格好になっていくんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

この補助金の事業費としては1億円を計上しております。ここの維持補修費のあとの残りの1億3千万円につきましては、本当に年間的な修繕になりますので、この1億円に対しての半分の50%の5千万円という補助金が入で上がっているというような状況でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

話が元に戻りますけども、以前に区画整理をした、以前から使っている町並みの道路が傷んでますよという話をしても、なかなか取りかかってくれないという話を聞く中で、区画整理事業は全体総予算が大体25億円から30%ぐらいが税金が入って、これは一般会計からの国からの補助もあると思うんですけども、そういった中で、もうちょっとバランスよく取り組んでいただいて、市民の声に答えていただきたい。これは要望として申し上げておきますが、よろしくお願ひします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに。

白井委員。

白井 章委員

白井です。

今の道路ストック点検から道路維持補修費の流れについてお聞きします。

まず、初めに、道路ストック点検を行って、その結果、修繕計画を立てますね。修繕計画を立てて道路維持補修費の関係で修繕工事を行うということで、これは令和4年度の中で点検を行い修繕工事を行う、その予算がここに上げてあるんですよね。その確認を。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

委員おっしゃるとおり、修繕は今年やりますけども、計画的な前年度以上に点検をやっておりますので、そういった積み重ねの中で令和4年度にやる路線を選定しているというような状況でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

そうすると、道路維持補修費は、令和4年度のストック点検だけでなく令和3年度とか以前のストック点検も考慮して予算が上げられていると、そういうことですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

そうしますと、昨年度に比べて6千万円ぐらい少なくなっていますよね。今年度と比べて令和4年度の道路維持補修費というのは6千200万円ぐらい少なくなっていると思いますが、その内容は何でしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

この費用につきましては、伏見町線の枇杷島橋の改築に伴いまして、県道に入っている雨水管を移設しなければいけない費用が昨年1億円計上させていただきました。今年度それが3千万円ぐらいに変更させていただきますので、その差額分が予算減ということになっております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

分かりました。

あと1点、街路灯費をお聞きします。

街路灯、LED化されましたよね。ずっと明るく、それから多分、電気料も少ないと思います。そして、故障も少ないんじゃないかなと思いますけど、修理の必要性も少なくなっていると思いますが、LED化した以降、年度ごとに効果はどのぐらいあったのか、これまでのトータルも含めて支出はリース代がありますよね。そういうのを対比させてどんだけ効果があったかというのは把握されてますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

LED化にしたことによって電気代は随分下がってきているかと思います。資料によりますと、平成28年度を100として、今現在予算化させていただいて金額でいくと約53%まで下がってきております。ピーク時よりは約半分近く減ってきている状況でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

結構です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

同じく、街路灯費のところなんですけども、需用費の電気料1千700万円ですけども、前年度は予算が2千300万円という表示になっていたんですけど、減った原因で何かあるんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

詳しくは分からないですけども、本数等も減ってるわけでもございませんけども、単純に電気料の価格が下がったということではないかなと思っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。今後上がるかもしれないですね。

もう1点、2千600万円のリース料の設定というのは、たしか平成28年度に切り替えるときに設置されている灯数に併せてこの金額になっていると思いますが、そういう理解でいいですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

幾つか新設があった場合も含めて、若干数、予算組みをした上でリース料で設定しとると思うんですけども。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

リース料につきましては、灯数はその当時の灯数のままでございますので、後から新設した分につきましては市のほうが管理しとるというような状況でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

そうすると、下の新設取組内容の表のところに街路灯設置新設で60か所とありますけども、これは前年度も60か所になっていたんですけども、毎年60か所という数字の根拠は何かなどというのと、もう1個、新設はリースじゃないですよ。そうすると、購入して工事をして取り付けるという形を取っているのか、その2点教えてください。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

新設につきましては、要望等があった件数を把握させていただきながら計上させていただいております。

リース料につきましては、新設した箇所につきましては市のほうで管理ということで、リース料とは別に上がっている状況でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ということは、設置の予算は一般会計から出て60か所設置する予算を組んであるという意味でよかったですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに、80、81ページ、ございませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

では、82、83ページ、よろしいですか。

白井委員。

白井 章委員

白井です。

雨水貯留施設管理費ということでお聞きします。

これは主要施策報告書235ページにありますけれども、市が管理する雨水貯留施設というのが何か所かあると思うんですよね。主な支出科目には、清掃業務4か所、保守点検が11か所、電気が9か所で多くありますが、その形態によってこれが適用するのとそうでない施設があると思うんですけど、この関係はどういうような関係になっておりますか、御説明をお願いします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

電気につきましては、ポンプで入れた水をくみ上げるというようなところで電気代が発生しております。

白井 章委員

全体的に何か所か説明をお願いします。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

11か所の9か所ということになります。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

11か所で、地下の埋設とオープンがありますよね。そういう形態で電気の必要があるところとか、あるいは清掃業務が4か所全てじゃないですよね。この関係の説明をお願いします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村でございます。

清掃箇所につきまして調整池の周りに緑地ということで木が植えてあるところがございます。

そういったところの剪定等をやらさせていただいているところが4か所ございまして、主に区画整理区域内で造られた調整池が緑地の関係でそういうふうになっているかと思えます。

白井 章委員

保守点検は全て11か所ですね。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

そうです。保守点検は全てポンプ施設があるところなんかはそうやっておりますということでございます。

白井 章委員

電気が9と。分かりました。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永でございます。

都市計画総務費の都市計画費、主要施策で236ページになりますが、幾つか教えてください。

事業目的から内容を読ませてもらいますと、前年度と違う新しい言葉が結構散りばめられておるものですから、教えてほしいんですけど、まず、大前提として、都市環境の保全及び都市利用の促進を図るため、基礎調査をはじめ都市をつくるということからスタートしてはありますが、今、企画部のほうで企業誘致を進めておって、農地の転用をするだとか、防災に関しても手を打たなきゃいけないとかいうことがあるんですけども、こういった連携はどんなふうに行っているかお聞きしたいです。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

企業誘致課との連携につきましては、今回の都市計画総務費に入っているものには該当しないんですが、企業誘致課とは月に1回、都市計画課、土木課、産業課、企業誘致課が情報交換というような会議を行っております、いろいろこういう業者からこういう問合せがあったとか、そういったことの情報交換をしているような状況でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

2番のほうに行くと事業内容の基礎調査を行って、用途地域等変更図書の作成業務を行いますと書いてあって、この中にはリニアインパクトと地域ニーズに対応という言葉が出てきてます。少子高齢化で世帯数が減る中で、後で空家・空地も増えてきている問題があって、あとでまた空家・空地は聞きますけども、その中で宅地の開発をしていくという方向性で清須市は今、大きくかじ取りがあって進んでいるんですけども、マスタープランをつくられたときの計画と、かじを取った現状の動きとの中での検証とか課題のあぶり出しとか、そういったことはどのようにされておられますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

まず、平成30年度に都市計画マスタープランを策定しまして、これまで、例えば調整区域の農地は保全していくというような方向だったものを、土地の所有者の方からも土地利用を図りたいというような御意見もあった関係も踏まえて、土地利用を図っていくというような方針に変えました。それが平成30年度の都市計画マスタープランです。

その翌年度、土地利用をどう図っていくかというようなことで、調整区域の土地利用と現在の市街化区域の中の土地利用の現状も調査をしまして、市街化区域の中でも用途地域の状況と現在土地利用の状況は乖離している部分は何か所かあったということで、そちらについては昨年度と今年度で2か所、用途地域の変更というのも進めております。それは都市計画マスタープランに基づいて事業を実施しているものでございますので、検証というよりはマスタープランに基づいて調整区域が土地利用を図っていくような方針で、企業誘致課もできましたので、そこで調整をして土地利用を進めている。

市街化区域においても、用途地域が乖離しているところについて、拠点とかそういったところを中心に、まちにふさわしいような、まちづくりができるような用途に変更していくようなことを今、実施をしております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

農地の在り方、農業の在り方というのは、国でもやっと少しずつ声が出てきていて、一部では結構議論がされるところなんです。清須市内においても、市街化区域の中にある農地がまだ結構残っておったりとか、道路付きの問題があったりとか、建築基準法上の道路がついてないので開発ができないとかいうことが、市街化区域の中の農地で起こってたりします。これは市街化区域の中の農地は名古屋市に隣接している自治体は宅地並み課税×0.7ぐらいの課税がされていて、いわゆる調整の中の農地に比べると固定資産税が100倍ぐらい違っていると。これに関しては、農福連携で何かを使うとかいうこともあったりとか、農地の使用許可に関する使用要件ですね、こういった緩和をされているので、都市計画課としてみれば、産業課とかも連携を取って、どうまちづくりをしていくかということが大切だと思うんですが、こういった議論をするテーブルというのは今までありましたか。それとも今後また続けていくことが何かありますか、定期的にやっていること。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

先ほども少し答弁させていただいた部分に重なるんですが、現在、企業誘致課と産業課と土木課と都市計画課で毎月1回調整会議を行っております。そこで、どういう企業からの問合せがあったということもありますし、今の農地で使えるところがあるのかないのか、そういった利用をどうしていくのだということも含めて調整はしているところでございます。

具体的に、こうしていくというところまでまだ至ってないのはあるんですが、調整はしております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

マクロ経済の角度から見ると、いわゆる高度経済成長期に行われていたマーケティングは今現状は通用しないので、大規模小売店舗なんかでも小売店がどんどん縮小してたりだとか、住宅

は着工数が減るばかりでしょうし、その中での宅地開発ですので、よくよくしっかり議論を交わしていただいて、リニアインパクトニーズとか地域ニーズ、現状だと東京がコロナの影響で人口流出が始まっていて仕事の在り方も変わってきているので、こういったニーズに提供するオフィス移住もあるぐらいなので、施政方針でもありましたように、何かしらいい部分で都会、いい部分で田舎という部分をいかに活かしていくかということをしっかり御検討していただきながらと思います。

もう1個は、これは教えてほしいんですけども、(3)都市計画基本図修正業務の中に公開型GISサービスの導入とありますが、これは費用とか人件費がプラスかかるとか、こういった内容のものかだけ教えてください。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

こちらにつきましては、現在、都市計画課のほうで住宅を建てる場合に用途地域の照会が個人の方とか建築業者から来るんですが、そのときに紙で御説明していたものを、別の市町でもやっているんですが、電子化でパソコン上で照会ができるようなシステムを考えていきたいというふうに思っていますので、例えば、地番を入れれば、その用途地域ですとか建蔽率・容積率は表示されるようなシステムの開発を今、考えております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

それは役所に、来なくても分かるという意味ですか。そういうことですか。どこからでもアクセスすれば分かるという意味ですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

そのとおりです。御自宅のパソコン、スマホからでも見れるようなことを考えております。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

分かりました。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに、82、83ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

続きまして、84、85ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

前ページから続いておる空家のところですけども、239ページになります。現状、空家の審議会は都市計画課に移管されて、空家・空地の対策をされておられるところだと思えますけれども、審議会はどんなふうに進められて、特定空家が何件かあって、それをどうしていくかということになっていくんだと思えますけども、現在、特定空家が何軒で、その審議회가年に何回ぐらい行われていて、今どんな方向性にあるか教えてください。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

空家対策協議会につきましては、今年度は1回行いました。昨年度の10月から都市計画課になってから、昨年度は空家対策協議会は実施できなかったんですが、今年度は1回開催しました。

それで、特定空家につきましては、平成30年度に防災行政課が主管していたときに調査を8件行って、そのうち4軒を特定空家と認定しております。今年度、最終的には4軒とも除却をされて更地になっている状況でございます。

今後、来年度も新たな特定空家の認定に向けて調査に入って、認定をする際に空家対策協議会に諮る必要がありますので、空家対策協議会は数回していくというふうに考えております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

調査の結果、現在、市内に空家だと掌握されている軒数は何軒あるか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

空家台帳というのをつくっておきまして、今それで市として把握しているのは約220軒になります。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

そのうち危険だと判断されているものはどれぐらいあるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

今のところ、特定空家に認定されているものがないので、ただ、危険だと思われるのが数軒あるのは認識しておりますので、今後そこを特定空家と認定するために調査に入って、特定空家に認定するような手続を進めたいと考えております。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

この間、歩いておりましたら、どこがって住所が特定されちゃうんと言わないんですけども、1軒、家の壁が通学路に面しておって、そこに清須市のコーンが立ってたところは空家なのか住んでるのか、住んでて危ないのかなんですが、こういった勧告をしているのか、ここの所管じゃなければ、またほかのところに聞かないかんですけども、そういったところが見受けられたんですが、覚えがないですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

西枇杷島の地区でよかったですでしょうか。違いますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

通学路に面しているの、学校に聞きます。いいです。大丈夫です。すみませんでした。

ありがとうございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに、84、85ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

一場東部開発費、246ページ、ここに書いてありますとおり、今年度から新しく出てきたもの。令和9年度に向けて区画整理事業をとということでございますが、ここに至った経緯と今後の進捗を教えてくださいと思います。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

経緯としましては、我々のほうからというよりも地元からの声が大きかったというところで、今現在、清洲駅前の土地区画整理事業が実施されておるんですが、そこがある程度事業が円滑に進んでいるということ踏まえて、同じ一場地区になりますので、そのノウハウも活かしながら、今の農地も土地利用できないかというような声が地元から上がりまして、地元の方が有志でそういう区画整理を実施したいということで、仮同意まで地元の方たちで取られたので、そこが概ね権利者がたしか180軒ぐらいあったと思うんですが、8割ぐらいの同意が取れたということで、技術援助申請というのが今年度出されました。それを踏まえて、市のほうも支援をしていくというような形で来年度から測量業務とか、そういった組合の支援業務、組合立会いに向かって進めていく業務ということを予算化させていただいているものでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これは春日のほうも今2つやって、多分、近々、区画整理事業としては終了するというお話は聞いておるんですけども、次から次へと出てくると言い方をしたらいかんのでしょうか、マスタープラン上ではこの場所というのは、こうなってますよとか、例えば、こんなふうに活用してくださいみたいな市のほうから指導というに変ですけども、より有効な利用という意味で、何らかの方向性をその方々に示したりとかいうことはされるんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

委員おっしゃるとおり、マスタープラン上でも農地でしたが、土地利用を図っていく地域という指定はさせていただいております。それは今の土田・上条地区と同じなんですが、土地利用を図りたいという請願が同時期に出ておりましたので、それを踏まえて都市計画マスタープランを見直したということでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに84、85ページ。

飛永委員。

飛永 勝次委員

清洲駅前土地区画整理事業、243ページに戻るんですが、順調に進んでおって、私もこの間、近くへ行きましたら景色がさま変わりして、道路がどんどん造られている土音が聞こえてくるような、非常に希望が持てる、わくわくするような状況にあるんですけども、1つお聞きしたいのが、パロマさんの工場の東側のところで遺跡が出てますよね。これは遺跡が出ていて、遺跡が出ると発掘調査をやって、それから埋め戻してから工事ということになると思うんですけど、こういったことで工期が延びたりとか、発掘予算というのは今回どこから出てくるのかということだけ聞かせてください。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

まず、埋蔵文化財の調査につきましては、組合の事業費の中に含まれております。市のほうも補助対象にしておりますので、補助金も負担をする形で、事業としては組合が実施しております。

今のところ、いろいろ出土品はあるんですが、工事の進捗に影響が出るようなほどの大規模な調査ということはまだ必要ないというふうには聞いております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これも当然、掘る前から出るだろうでやっていたんですね。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

生涯学習課のほうで包蔵地という図面に落とされたものがありますので、そこに係る工事については全て調査対象というふうになりますので、生涯学習課の学芸員と調整を図りながら実施しております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今の調査に係る経費に関しては補助対象にもなっておるし、もともと事業費に含まれておることだと、駅前の開発でもともと土地の路線価がそこそこあるところということになると、多分、個人個人の減歩だけじゃなくて、負担する部分で通常の土地区画整理事業、通常という言い方をしたらあれですけども、理想とする土地区画整理事業をすることによって土地の価値を上げてというところからすると、持ち出しの精算金とかというのは、そういう持ち出ししなきゃいけないということが増えてくるんでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

やはりあるかないかといえば、調査の費用分はどうしてもかかるかと思いますが、駅前ということで、そこも見込んだ事業費の計画を立てておりますので、当初からそれを見込んだ計画ということで御理解いただければと思います。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

安全に工事を進めていただければと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに、84、85ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ないようでしたら、次に、86、87ページ。

白井委員。

白井 章委員

白井です。

都市公園管理費について伺います。

都市公園は63か所ありまして、利用者が安心して利用できるように、遊具などの公園施設の維持管理を行うための費用が予算化されてますけども、これは前年度と比べますと約1千800万円余り、率として17%ぐらい少なくなっているんですが、多分、前年度は公園施設長寿命化計画策定業務が約1千600万円で委託料が入っていましたが、この分だと思いますが、その点、確認をお願いします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課、長谷川です。

そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

そうしますと、令和4年度の予算の公園施設長寿命化計画に基づいて、老朽化した公園施設の改築工事を行いますね。その予算が2千992万円ということで上げられていますが、これは先

ほど言いました63か所のうちの何か所に該当するのでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

この長寿命化計画というのが10年間の計画でして、たしか平成22年か23年ぐらいに造ったものが今回見直しをかけたというものでございます。

一応、5年間でどこの公園をどのように直すんだというような事業計画を立てて実施をしておりますので、それを見直したということなんですが、今回、約3千万円の工事で、1つの公園の全体をというよりは、遊具・施設1つ1つですね、ブランコだとか滑り台ですとか、そういったものの老朽化したものを随時取り換えるというようなことで、今年度はたしか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

佐藤課長補佐。

都市計画課課長補佐（佐藤 嘉起君）

都市計画課課長補佐の佐藤です。

今年度は9公園で実施いたします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

それは主要施策成果報告書の252ページにありますね。各都市公園の63か所の内訳の箇所が決まると。先ほど言われました箇所はこのうちのどこの箇所をどれだけやるんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

新たに造った公園というのもございまして、そういったところは全然入らないんですが、先ほど補佐が申し上げた9か所のうち西枇杷島地区が2か所、新川地区が3か所、清洲地区が3か所、春日地区1か所の内訳になります。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

先ほど御説明がありましたけども、内容的にはいろいろな遊具とか、そのほかいろいろ点検した結果、更新していかなくちゃいけない部分があると思うんですが、これは令和4年度からやりまして、長寿命化計画ですね、どのぐらいの計画で全てを完了する計画になっているんでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

この長寿命化計画というのは10年間の計画で、各公園にどういった遊具があるのか、どういったほかの施設があるのかというのを点検しまして、その中で劣化度というのを見ていって、いついつまでにどれぐらいの老朽化が進むだろうというのを踏まえて、例えば、来年度やるのは、この近くでいいますと芳野公園というところがあるんですが、芳野公園ではブランコとシーソーを取り換えるというような形で、公園ごとの施設ごとに、いつ頃、取り換えるんだというような計画を立てて実施するような形でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

分かりました。

安全で快適に利用できるようにしていただきたいと思います。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに86、87ページ。

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

都市公園なのか児童遊園に当てはまるのか分かりませんが、実は昨日、ある地域の方から苦情をいただきまして、一緒に公園を見にいきました。シルバー人材センターに草取り業務を委託しとるといふ公園らしいんですが、この時期見ますと、草も1本も生えてない、ごみも落ちてないけど、予算が余っとるで、ここから7人も入って何をやるんだということを言われるわけですね。市のほうはどのように契約を結んでみえるか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

一応、今、シルバー人材センターと公園業者、地元管理、そういった形で、各施設によって管理の形態は違っております。基本的には、地元の方々に維持管理をしていただきたいということで啓発も進めておるんですが、やはりいろんな事情がある中で、そういった形態には分かれております。

年間の委託ということでお任せをしているような状況が実際にはありますので、今回でも、やはり定期的に掃除をしている中で、たまたまそういうふうだったのかなというふうに思われます。

すみません、以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

私も内容まで実際分かりませんが、その方がおっしゃるには、市のほうにたくさん予算をいただいておりますので、結局、1日延べ何人、年間入るかとか計算されて、シルバーのほうも委託契約を請け負ってみるとは思うんですけど、この時期になって何も無いときにも、予算が余るとして、シルバー人材センターのほうに週に7人ぐらい出さないかんだということも説明されてみえました。その辺がですね、年間契約だからたまたま違う時期に頑張られたんで、今はやらなくてもいいのか分かりませんが、その地域で見えてくる人は、市の税金ですので、かなりの金額がもったいないじゃないかと。こんなきれいな公園に大勢入って何をやるとるんだらうということを書いてみたんで、契約の内容もいろいろありますから一概に言えないとは思いますが、その辺のことを一度精査していただくようにお願いします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに、86、87ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

最後に、88、89ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

では、これで質疑を終わります。

トイレ休憩ということで、50分までお願いいたします。

(時に午前10時36分 休憩)

(時に午前10時48分 再開)

建設文教委員会委員長 (富田 雄二君)

休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。

次に、議案第6号 令和4年度清須市水道事業会計予算案について説明をお願いいたします。

中野上下水道課課長補佐。

上下水道課課長補佐 (中野 知久君)

上下水道課課長補佐の中野でございます。よろしくをお願いいたします。

議案第6号 令和4年度清須市水道事業会計予算案について説明いたします。

水道事業会計予算書、下水道事業会計予算書の22、23ページを御覧ください。

第3条の収益的収入及び支出の予算について説明いたします。

収益的収入

1 款水道事業収益、1 項営業収益、1 目給水収益、当年度予定額1億8千673万6千円、1 節給水収益です。給水栓数3千821栓、年間総配水量103万9千765立方メートルの予定量に対する水道料金です。

2 目受託工事収益、当年度予定額2千597万6千円、1 節給水装置受託収益です。給水装置工事に伴う引込管受託工事収益です。

3 目その他営業収益、当年度予定額288万5千円、1 節手数料と2 節他会計負担金です。主なものは、下水道使用料徴収事務の負担金です。

2 項営業外収益、1 目受取利息及び配当金、当年度予定額1千円の窓口計上です。1 節預金利息です。

2 目他会計負担金、当年度予定額12万円、1 節一般会計負担金です。

3 目長期前受金戻入、当年度予定額1千971万4千円、1 節長期前受金戻入です。

4 目消費税及び地方消費税還付金、当年度予定額1千円の窓口計上です。1 節消費税及び地方消費税還付金です。

5 目雑収益、当年度予定額2千円の窓口計上です。1 節不用品売却収益と2 節その他雑収益です。

3項特別利益、1目過年度損益修正益、当年度予定額1千円の窓口計上です。1節過年度損益修正益です。

次に、収益的支出について説明いたします。

1款水道事業費用、1項営業費用、1目原水及び浄水費、当年度予定額7千412万2千円、1節備消耗品費から5節受水費までです。主なものは、県水の受水費及び水質検査の委託料です。

2目配水及び給水費、当年度予定額2千82万7千円、1節備消耗品費から10節保険料までです。主なものは、給配水設備等の維持管理に伴う点検委託料、維持修繕費及び電気料です。

3目受託工事費、当年度予定額2千474万円、1節工事請負費です。主なものは、給水管引込工事費及び一般受託工事です。

4目業務費、当年度予定額1千395万6千円、1節燃料費から1枚はねていただきまして、24、25ページを御覧ください。10節貸倒引当金繰入額までです。主なものは、料金事務、料金徴収事務です。

5目総係費、当年度予定額2千261万4千円、1節給料から16節会議研修費までです。職員、任用職員の人件費及び一般事務費であります。

6目減価償却費、当年度予定額6千65万8千円、1節有形固定資産減価償却費と2節無形固定資産減価償却費です。

7目資産減耗費、当年度予定額1千円の窓口計上です。

1節固定資産除去費です。

8目その他営業費用、当年度予定額1千円の窓口計上です。1節材料売却原価です。

2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費、当年度予定額383万3千円、1節企業債利息です。

2目消費税及び地方消費税、当年度予定額500万円、1節消費税及び地方消費税です。

3目雑支出、当年度予定額1千円の窓口計上です。1節その他雑支出です。

3項特別損失、1目過年度損益修正損、当年度予定額30万円です。

4項予備費、1目予備費、当年度予定額100万円です。

次に、4条の資本的収入及び支出について説明いたします。

1枚はねていただきまして、26、27ページを御覧ください。

資本的収入について説明いたします。

1款資本的収入、1項他会計出資金、1目他会計出資金、当年度予定額1億円、1節一般会計

出資金です。

2 項県補助金、1 目県補助金、当年度予定額 5 4 0 万円、1 節県補助金です。生活基盤施設耐震化等補助金です。

3 項工事負担金、1 目工事負担金、当年度予定額 5 千 6 1 9 万 5 千円、1 節施設負担金と 2 節工事負担金です。主なものは、配水管等工事負担金です。

次に、資本的支出について説明いたします。

1 款資本的支出、1 項建設改良費、1 目配水設備工事費、当年度予定額 1 億 1 千 1 6 万 6 千円、1 節給料から 5 節工事請負費までです。主なものは、重要給水施設配水管路耐震化事業です。

2 目メーター費、当年度予定額 7 0 万 9 千円、1 節メーター費です。

2 項固定資産購入費、1 目固定資産購入費、当年度予定額 8 0 万 8 千円、1 節有形固定資産購入費です。工具器具購入費です。

3 項企業債償還金、1 目企業債償還金、当年度予定額 4 千 7 5 4 万円、1 節企業債償還金です。

次に、戻っていただきまして、1 4、1 5 ページを御覧ください。

令和 4 年度清須市水道事業予定貸借対照表について説明いたします。

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産として、イの土地からトの建設仮勘定までで、有形固定資産の合計は 1 5 億 5 千 9 5 5 万 2 千円を予定しております。

(2) 無形固定資産は、イの電話加入権からロのソフトウェアまでで 4 2 6 万 5 千円となり、固定資産合計は、(1) の有形固定資産と (2) の無形固定資産を合わせた 1 5 億 6 千 3 8 1 万 7 千円を予定しております。

次に、2 流動資産は、(1) 現金預金から (3) 貯蔵品までで、流動資産の合計は 1 億 2 千 4 8 4 万 3 千円を予定しております。

資産合計は、固定資産合計 1 5 億 6 千 3 8 1 万 7 千円に流動資産合計 1 億 2 千 4 8 4 万 3 千円を加えた 1 6 億 8 千 8 6 6 万円を予定しております。

右側 1 5 ページを御覧ください。

次に、負債の部。

3 固定負債は (1) 企業債の 2 千 8 0 3 万 3 千円、4 流動負債は (1) 企業債から (4) 引当金までの 6 千 9 1 2 万 1 千円、5 繰延収益は長期前受金と収益化累計額で、繰延収益合計

4億7千458万円です。

負債合計は、固定負債合計2千803万3千円、流動負債合計6千912万1千円、繰延収益合計4億7千458万円を合わせた5億7千173万4千円を予定しております。

次に、資本の部。

6 資本金は10億715万7千円、7 剰余金、(1) 資本剰余金はイの受贈財産評価額の361万3千円、(2) 利益剰余金はイの建設改良積立金からロの当年度未処分利益剰余金までの1億615万6千円を予定しております。

剰余金合計は、(1) 資本剰余金合計と(2) 利益剰余金合計を合わせた1億976万9千円となります。

資本合計は、6 資本金の10億715万7千円と7 剰余金合計の1億976万9千円を足した11億1千692万6千円となります。

負債資本合計は、負債合計5億7千173万4千円と資本合計11億1千692万6千円を足した16億8千866万円を予定しております。

水道事業会計予算の説明は以上です。御審議のほどよろしく申し上げます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

白井委員。

白井 章委員

白井です。

27ページのところです、重要給水施設配水管路耐震化事業ということで4千857万5千円の予算が上がっておりますけど、これの重要給水施設配水管というのがどのような施設を指すのか教えていただきたいと思います。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

こちらのほうなんですけど、耐震化計画のほうで重要施設のほうですね、10か所のところを結ぶ施設のほうの水道管になっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

それは配水管路はどれだけの配水管路があるのでしょうか。それをまず耐震化を行っていくということでの予算ですよ。その点もう少し。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

こちらのほうなんですけど、平成27年3月に清須市春日地区配水管路耐震化計画というのを決めました。こちらのほうが春日配水場のほうから春日地区の指定避難所に指定されているような春日小学校はじめ10か所の重要施設に至る2.3キロの箇所を10年間で耐震化するという計画を決めました。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

今の御説明で2.3キロの配水管路を10年間で耐震化していくという計画に基づいて、令和4年度はこれだけやっていきますということになるんですね。

ちなみに、令和4年度の予定は、延長はどれぐらいになるんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

令和4年度の計画が153メートルになっております。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

分かりました。

耐震化は費用もかかりますし、なかなかできないと思いますけども、今、清須市春日以外は名古屋市上下水道局が管理しております、ところどころで古くなった水道管を地震に強い管に取

り換える工事が行われていますね。いずれにしても、防災という面でも地震に強い配管にしてい
く必要があると思うんですけども、こちらのほうの事業についても、順次、重要給水施設配水管
路以外にも耐震化ということは考えておられるのでしょうか、どうですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

新規で入れるところとか、下水道の支障移転等で発生したところについては、耐震性のあるポ
リエチレン管のほうの管で整備していくというような形にしております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

分かりました。

それと、あと1点ですね、これから耐震化していくのは非常に事業費もかかるんですけども、
いろいろ御説明がありましたけど、今現在の収入や支出のバランスからそういうのを十分進めて
いける財務体制になっているのでしょうか、それだけ確認しておきます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

水道使用料の収益のバランスのほうは十分取れております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

結構です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

今と同じようなところで、今の説明だと、指定避難所10か所に向けての重要施設に対する耐震化工事が4千800万円で、その他給配水設備整備事業5千300万円となっていますけども、耐震化の工事の進捗率とか見た場合、順調に進んでいるのか、10年の計画に対して重要施設に対してはそうですけども、一般家庭についての水道管の耐震化というのは今どんな進捗なんでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

耐震化のほうは、当初の計画より若干遅れておるような形になっておりまして、3月末の段階で、今10.7%ぐらい整備されております。

一般家庭のほうにつきましては、新設でやるところについては、先ほど言いましたように、ポリエチレン管なんかの管で耐震性のあるものにしてはありますが、古いところについては、今、耐震化をするということとはできない状況になっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

資金的収入と支出のところを見ますと、資金的収入の3分の2が一般会計出資金になっているんですね。水道事業としては、営業収支としては赤字にならないようにやれているというのは分かるんですけども、いわゆる設備を維持するための更新工事をするのが一般会計からお金を出資してやっていくということで、進捗率がまだ10%ちょっとだと。すると、今後また、かなり手を加えなきゃいけない。一般家庭向けも進捗がまだできてないことだと、結構苦しく見えるんですけども、今後の展望とか何かあれば。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

まずは、整備のほうに、耐震化のほうについては、耐震計画に基づいて、まず幹線と言われる2.3キロのところですね、こちらのほうを先行してまずやってから、先ほど言ったように、新

設だとか下水道の支障移転になったときには耐震性のあるものに入れ替えていくような形にして
いきたいと思っております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

苦しい台所事情の中で市民の水をしっかりと守っていただけるように進めていただければと思
いますので、よろしくお願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかにございませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

これで質疑を終わります。

議案第6号 令和4年度清須市水道事業会計予算案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

全員賛成であります。

よって、議案第6号 令和4年度清須市水道事業会計予算案については、原案のとおり可決す
べきものと決しました。

次に、議案第7号 令和4年度清須市下水道事業会計予算案について説明をお願いいたします。

中野上下水道課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

上下水道課課長補佐の中野でございます。よろしくお願いいたします。

議案第7号 令和4年度清須市下水道事業会計予算案について説明いたします。

水道事業会計予算書、下水道事業会計予算書の52、53ページを御覧ください。

第3条の収益的収入及び支出の予算について説明いたします。

収益的収入

1 款下水道事業収益、1 項営業収益、1 目下水道使用料、当年度予定額 2 億 2 千 6 0 1 万 8 千円、1 節下水道使用料の計上につきましては、年間総処理水量 1 3 8 万 4 千 3 0 0 立方メートルの予定量に対する下水道使用料です。

2 目雨水処理負担金、当年度予定額 4 億 5 千 1 1 6 万 9 千円、1 節雨水処理負担金です。主なものは、雨水減価償却費負担金 2 億 3 千万 1 千円です。

3 目受託事業収益、当年度予定額 1 0 3 万 2 千円、1 節都市下水路維持管理収益と 2 節その他受託事業収益です。

4 目その他営業収益、当年度予定額 7 0 8 万 7 千円、1 節手数料から 3 節雑収益までです。主なものは、指定工事店指定等手数料 1 5 万円です。

2 項営業外収益、1 目受取利息及び配当金、当年度予定額 1 千円、1 節預金利息です。

2 目他会計負担金、当年度予定額 3 億 2 千 9 2 9 万 2 千円、1 節一般会計負担金です。主なものは、分流式下水道経費負担金 2 億 4 千 3 6 6 万 3 千円です。

3 目補助金、当年度予定額 2 千 1 0 0 万円、1 節下水道事業費補助金です。主なものは、社会資本整備総合交付金です。

4 目長期前受金戻入、当年度予定額 4 億 9 千 5 0 6 万 7 千円、1 節長期前受金戻入です。主なものは、長期前受金戻入国庫補助金 2 億 4 千 5 8 0 万 1 千円です。

5 目消費税及び地方消費税還付金、当年度予定額 7 千 7 5 2 万 5 千円、1 節消費税及び地方消費税還付金です。

6 目雑収益、当年度予定額 5 千円、1 節延滞金と 2 節その他雑収益です。主なものは、消費税及び地方消費税還付加算金です。

3 項特別利益、1 目過年度損益修正益、当年度予定額 1 千円の窓口計上です。1 節過年度損益修正益です。

2 目その他特別利益、当年度予定額 1 千 1 1 9 万 1 千円、1 節その他特別利益です。主なものは、元金償還繰入金の過年度未収益分の収益です。

次に、収益的支出について説明いたします。

1 款下水道事業費用、1 項営業費用、1 目管渠費、当年度予定額 2 千 2 8 7 万 2 千円、1 節備消耗品費から 1 枚はねていただきまして、5 4、5 5 ページを御覧ください。8 節保険料までです。主なものは、汚水・雨水管渠などの維持管理費です。

2 目ポンプ場費、当年度予定額 1 億 1 千 3 7 5 万 9 千円、1 節備消耗品費から 8 節保険料まで

です。主なものは、雨水ポンプ場の維持管理費です。

3目受託事業費、当年度予定額103万2千円、1節委託料と2節雑費です。主なものについては、都市下水路管理受託103万1千円です。

4目普及指導費、当年度予定額181万3千円、1節補助金です。主なものは、宅地内污水ポンプ設備設置費補助金等です。

5目業務費、当年度予定額1千964万7千円、1節報償費から8節雑費までです。主なものは、名古屋市上下水道局などに委託する下水道使用料徴収事務費1千489万6千円です。

6目総係費、当年度予定額9千858万7千円、1節給料から16節広告宣伝費までです。主なものについては、職員人件費3千102万7千円です。

7目流域下水道維持管理負担金、当年度予定額2億1千743万9千円、1節負担金です。主なものは、流域下水道の維持管理に係る本市の負担分です。

8目減価償却費、当年度予定額8億9千256万9千円、1節有形固定資産減価償却費と2節無形固定資産減価償却費です。

9目資産減耗費、当年度予定額500万円、1節固定資産除去費です。工事などにより、固定資産の除去に伴い計上するものです。

1枚はねていただきまして、56、57ページを御覧ください。

10目その他営業費用、当年度予定額1千円の窓口計上です。1節雑損失です。

2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費、当年度予定額1億6千114万2千円、1節企業債利息と2節その他支払利息です。公共下水道事業債利息、流域下水道事業債利息、小場塚幹線整備事業立替金償還費利息相当額です。

2目消費税及び地方消費税、当年度予定額1千円の窓口計上です。1節消費税及び地方消費税です。

3目雑支出、当年度予定額1千円の窓口計上です。1節その他雑支出です。

3項特別損失、1目過年度損益修正損、当年度予定額30万円です。

4項予備費、1目予備費、当年度予定額100万円、1節予備費です。

次に、4条 資本的収入及び支出について説明いたします。

1款資本的収入、1項企業債、1目企業債、当年度予定額10億620万円、1節公共下水道事業債と2節流域下水道事業債です。

2項他会計出資金、1目他会計出資金、当年度予定額1億7千269万2千円です。1節一般

会計出資金、汚水整備出資金、雨水整備出資金です。

3 項他会計補助金、1 目他会計補助金、当年度予定額 5 千 9 2 5 万 6 千円、1 節一般会計補助金で雨水用地費補助金、流域下水道臨時措置元金補助金です。

4 項国庫補助金、1 目国庫補助金、当年度予定額 7 億 5 千 9 9 0 万円、1 節下水道事業費補助金で、社会資本整備総合交付金です。

5 項工事負担金、1 目工事負担金、当年度予定額 2 千 3 4 8 万 8 千円、1 節下水道事業受益者負担金から 3 節一般工事負担金までです。

次に、資本的支出について説明いたします。

1 款資本的支出、1 項建設改良費、1 目管渠建設改良費、当年度予定額 1 2 億 8 千 2 9 0 万 8 千円、1 節委託料から 7 節調査費までです。

1 枚はねていただきまして、5 8、5 9 ページを御覧ください。

2 目ポンプ場建設改良費、当年度予定額 6 億 9 千 1 1 0 万円、1 節委託料で、雨水ポンプ場整備費です。

3 目建設総係費、当年度予定額 2 千 6 8 1 万 4 千円、1 節給料から 6 節賃借料までです。主なものは、職員人件費です。

4 目流域下水道建設負担金、当年度予定額 7 千 9 7 2 万 2 千円、1 節負担金で、流域下水道建設負担金です。

2 項固定資産購入費、1 目固定資産購入費、当年度予定額 4 5 万 7 千円、1 節有形固定資産購入費と 2 節無形固定資産購入費です。

3 項企業債償還金、1 目企業債償還金、当年度予定額 5 億 3 千 4 8 7 万 2 千円、1 節企業債償還金です。

4 項その他資本的支出、1 目その他資本的支出、当年度予定額 1 千 5 0 4 万 6 千円、1 節その他資本的支出、小場塚幹線整備事業立替金の償還金です。

次に、戻っていただきまして、4 4、4 5 ページを御覧ください。

令和 4 年度清須市下水道事業予定貸借対照表について説明いたします。

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産として、イの土地からへ 建設仮勘定までで、有形固定資産の合計は 2 8 1 億 9 千 5 2 8 万 3 千円。

(2) 無形固定資産は、イ 施設利用権からハ ソフトウェアまでで、無形固定資産の合計は23億7千183万円。

(3) 投資その他資産は、イ 出資金、ロ 長期前払費用で、投資合計は198万9千円、固定資産合計は、(1)の有形固定資産と(2)無形固定資産と(3)投資を合わせた305億6千910万2千円を予定しております。

次に、2 流動資産は、(1)現金預金と(2)未収金と(3)前払費用で、流動資産合計は16億1千505万6千円を予定しております。

資産合計は、固定資産合計305億6千910万2千円に流動資産合計16億1千505万6千円を加えた321億8千415万8千円を予定しております。

次に、負債の部。

3 固定負債は、(1)企業債の143億1千70万4千円、その他固定負債4千722万9千円を合わせ、固定負債の合計は143億5千793万3千円。

4 流動負債は、(1)企業債から(4)その他流動負債までで、流動負債の合計は13億3千537万9千円。

5 繰延収益は長期前受金収益化累計額で、繰延収益合計は146億170万2千円です。

負債合計は、固定負債合計143億5千793万3千円、流動負債合計は13億3千537万9千円、繰延収益合計146億170万2千円を合わせた302億9千501万4千円を予定しております。

次に、資本の部。

6 資本金は12億2千893万6千円

7 剰余金

(1) 資本剰余金は、イの受贈財産評価額772万2千円、ロの他会計補助金7億5千112万1千円、ハの国庫補助金2億5千674万3千円を合わせた10億1千558万6千円。

(2) 利益剰余金は、イの当年度未処理欠損金3億5千537万8千円。

剰余金合計は、(1)資本剰余金合計10億1千558万6千円、(2)利益剰余金合計マイナス3億5千537万8千円を合わせた6億6千20万8千円です。

資本合計は、6 資本金12億2千893万6千円と7 剰余金合計の6億6千20万8千円を足した18億8千914万4千円です。

負債資本合計は、負債合計302億9千501万4千円と資本合計18億8千914万4千円

を足した321億8千415万8千円を予定しております。

下水道事業会計予算の説明は以上です。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

収益的収入と収益的支出のところで教えてください。

まず、収益的収入のところで他会計負担金が3億2千万円、前年度よりも1千400万円減ってますということになっていますが、この理由は、他会計から営業外収入として入れて現状の事業を成り立たせておるという認識でいいのか、また、減っていることについても教えていただけますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

すみません、もう一度、質問のほうの収益的収入のどこが減ったところのことですか。

飛永 勝次委員

一般会計の負担金が収入の中で3億2千万円計上されております。これは事業の収益的収入の現在の事業に対して支出に対して一般会計からお金を入れなきゃいけないという認識でいいのかどうか、今後どうなっていくのかということと前年度から減ってる理由は何ですかということ。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

今ここで返事できないもので、後ほど返事します。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

質問を変えます。

ざっくり概念的な返答でいいんですけども、収益的収入のところには営業外収支の中に一般会計からの負担があるということは、現状使っていただいている方から頂いている使用料では現状の事業が賄えないので負担金を入れているという認識になるのでしょうか、それとも、もともと負担金が発生するものなんでしょうか、どういう認識でいいんでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

こちらの負担金の目的のほうなんですけど、主に減価償却費や企業債の利息のほうになっておりまして、企業債の利息のほうの影響が多いです。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

質問を変えます。

54ページの流域下水道維持管理負担金というのがあって、これが前年度に比べて1千500万円ほど増えています。前々年度は70万円ぐらい減ってたんですね。今回1千500万円増えている理由というのをお聞かせいただければと思います。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

流域下水道の維持管理負担金のほうについては、下水道の汚れた汚水を処理場に流すことによって年々使用料が増えていくことで負担金がだんだん増加していくような形になります。昨年度については単価の見直しがございましたので、当初、愛知県が計画しておりました下水道使用料が清須市の整備の計画が遅れておるということで、量がどうしても少なかったということで当初より減ってしまったということです。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

今のお話の中で、予定していた使用料を確保するための工事が進捗できなかったというお話だと思うんですけども、何らかの理由は、多分進捗しなかったかできなかったか、いろんな理由があると思うんですが、概ね進捗が思うようにいかなかったという理由は何かございますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

主なものとしては、支障移転と言われる下水管を整備しようとしているところに既に入っておりますガス管や水道管、そういうようなものの移設に係る費用というものがかかってくるのと、水道事業者が、事業者の発注が遅れてしまったことによって、こちらの整備のほうが遅れていくようなものになります。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

その遅れるにあたって、その工事費用というのは、下水道事業工事のいわゆる国費の負担金とか補助金が出る内容の工事なんでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

支障移転のほうについては、国庫のほうも起債のほうも充てておりませんので、市の単独費になっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

財源として国庫負担金・補助金、そういったものがないという理解でいいですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

そうです。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

一般会計、いわゆる真水でやらなきゃいけないというのが路面を掘ってみないと分からないというような状況がありながらこの下水道事業をやりくりしながら進めていらっしゃるという理解でいいですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

そうです。事前に設計の段階で水道事業者やガスの事業者のほうから、埋設している管の位置を確認しながら、一番、支障移転のかからないところを設計しておるんですが、実際掘ってみたら違うところに出てきてしまったというふうなことになりますと、結果的に工事のほうが遅れてしまったり、費用が変わってくる場合がございます。それによって汚水の整備の事業は遅れてくるということがございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

いわゆる都市形成されているところでの下水道の工事ということで、また今、布設されているものの下に管を埋めるということになるでしょうから、こういった不測の事態とは言わないですけども、ある程度そういった負担が増えるものを吸収しながら進めていらっしゃるという理解でいいですね。分かりました。

資本的収入と支出でお聞きしておきたいんですが、資本的収入のうち企業債がほぼ10億円で、公共下水道としては9億2千万円があって、支出のほうで汚水管渠の整備費として9億8千900万円計上されていますけども、そのほかに雨水管渠がほぼ3億円、支出としてなってます。また、その次にポンプ場として6億9千万円ということで、結構、下水道の汚水管布設に負けるとも劣らないぐらい雨水整備が同じぐらいのバランスで盛り込まれておるんですけども、この財源の確保とか、いわゆる進めるにあたってのバランスとか、そういったことはどんなふうに検証し

て進められておるかだけ教えていただけますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

こちらのほうについてなんですが、下水道の経営戦略を策定しておりまして、財源である国費や起債のほうも確保しながら計画的に汚水管、雨水管、ポンプ場の整備のほうを行っていくようにしております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

簡単に言うと、それぞれの財布はそれぞれきちっと分けて管理ができておるという理解でよろしいでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

経営戦略に沿ってやっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

今の飛永委員と関連する質問なんですけど、ライフラインの入れ替え等によって工事が遅れるということは理解できるんですが、掘らなきゃ分からないという面があるんですが、そのエリアとか路線についてはそういうことになると思うんですが、そのほかのところで計画上、本来なら着手しとらないかんとかが着手できてないというのはどのような理由があるんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

この辺は市民の皆さんに大変期待されている汚水管の整備が遅れてしまったということは本当

に申し訳なく思っております。こちらのほうの理由というのは、先ほど説明したのと同様な話になっておりまして、当初計画しておいた下水道の経営戦略に基づいて、汚水の整備、雨水管の整備のほうも計画的にやっておるんですけど、その中には支障移転の費用も入っております。その費用が当初計画していた以上にかかってしまったり、水道やガスの工事のほうが遅れてしまったことによって若干遅れてくるというところはございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

費用がなくなったということは分かるんですが、工事が遅れてということと言われると、その路線でもエリアでも全くない地区なんで着手はできるわけですよ。その辺もう一度説明をお願いします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

汚水に係る全体的な費用のものについて、どうしてもそちらの計画していたところまで着手できなかったというところになります。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

今回遅れている理由は、最初の見込みよりもライフラインの入れ替え等で費用がかかってしまったと。これは当然設計してみえるわね。すると、こういうことはよく起こるんですかね。そこで予算を使ってしまったということは、当然、大きく設計変更されたわけでしょう。それっていうのは議会に諮られました。どうなっているんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

発注した工事区間のところでの設計変更の手續となっております、議会のほうには諮ってお

りません。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

これは多分かなりの金額なんでしょうね。設計変更して予算よりも増額してしまったというのは、どのくらい増額されたんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

そもそも本体工事の変更というのは通常の変更の内容になっておりまして、支障移転は支障移転で補償費のほうで、設計自体は水道局や東邦ガスが設計しておりますので、向こうに積算してもらったものを補償費として出しておりますので、こちらで設計はしておりません。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

設計はしてないんだけど、市の予算が足りなくなったってどういうことです。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

足りなくなったというか、予算の中でできる範囲のところをやったということになります。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

私、理解する能力がないのか分かりませんが、遅れた理由と違うような気がするんですけど、そんなことないですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

当初、支障移転を計画していたところがやれないことによって本体工事自体ができないことになってしまいますので、結果的に遅れてしまったということになります。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

だから、路線とかエリアの中が遅れるのは分かるんですよ。当初の市の計画の中で来年度はここをやりますという計画があったわけですよ。そちらのほうで着手できてない理由は何ですか。

先ほど聞きましたら、ほかのほうで予算が取られたんで、そちらに回す予算がなくなりましたという説明のように聞こえたんですけど、それで理解してよろしいか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

そういうことになります。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

結構です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

先ほどの飛永委員の質問ですけど、確認のためにもう一度。

飛永 勝次委員

他会計負担金のところが、収益的収入・支出のところなので、現状の下水道事業費に対して一般会計から収入として負担金を入れて支出を合わせているという形になっているんですけども、将来的にはこの負担金というのはなくなっていくものなんですか。当然、使用料とか国庫負担金を確保していきながら一般会計からの拠出はなくなっていくものだと思ってこの質問をしたんですけども、そういう理解でいいですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

こちらのほうについては、基本的に、主に減価償却費や企業債への利息、法定化の経費負担金だとか児童手当の負担金になっておりまして、こちらが全くなくなるということはないです。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ということは、下水道事業を成り立たせるために一般会計からずっとお金を入れるという意味ですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

こちらのほうについては、現段階ではそうなってしまいます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ということは、先行して投資をして事業が進んでいって、将来的に接続率が上がることでこの負担金が減っていくという理解でいいんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

そのとおりです。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

そうすると、現状の接続率が計画した接続率と何か乖離がありますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

若干、接続率は低いのかなというのをございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

接続率を上げるためにどんなことをしていられる予定ですか。つながる理由ですね。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

中野課長補佐。

上下水道課課長補佐（中野 知久君）

うちの職員で工事の際に住民の方と接触できるというのが、工事のときに取付管をやるときに下水道につなぐことのメリットや接続に対しての丁寧な説明をしておるような形になっております。

以前ですと、工事説明会や供用開始に関しての説明会を行っておったんですが、今回コロナということでなかなか人を集めて説明することができないということになっておりますので、電話の問合せなんかでは個別で皆さんの御自宅に伺って職員が丁寧な説明をしているような形になっております。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

本来であれば下水道事業の中で賄えるという計画を立ててやられていることだと思うので、累積で7億4千万円ぐらい一般会計から補助金がずっと入っている状況で、これもどこかで解消できるような計画でやっていらっしゃるのかなと思うんですが、その分、先行的な投資をしているという理解でおりますので、今後とも健全な運営と、また工事も市街化のされた所の工事で大変かと思いますがけれども、そういったリスクもしっかり見据えながら進めていただければと思います。

事業規模としては令和4年で320億円、大体毎年10億円ぐらいの進捗で進めていらっしゃると思いますけれども、市民の生活向上のためのことですので、健全に進めていただければと思います。

よろしく願いいたします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかに。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは、これで質疑を終わります。

議案第7号 令和4年度清須市下水道事業会計予算案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ありがとうございます。

全員賛成であります。

よって、議案第7号 令和4年度清須市下水道事業会計予算案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第9号 清須市名古屋都市計画清洲駅周辺地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例案について説明をお願いいたします。

長谷川建設部次長兼都市計画課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

都市計画課長の長谷川です。

それでは、お手元の令和4年3月清須市議会定例会市長提出議案、こちらの5ページをお願いいたします。

議案第9号

清須市名古屋都市計画清洲駅周辺地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例案

上記の議案を提出する。

令和4年2月24日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、清洲駅前土地区画整理事業による効果の維持及び増進を図り、地域住民が安全で安心して暮らせる環境の保全を図るとともに、健全な市街地を形成するため、建築物等に関する制限を定める必要があるからです。

内容につきましては、次の6ページの条例案と緑色の議案説明資料の5ページ、6ページにより説明させていただきます。

まず、趣旨といたしまして、第1条 この条例は、建築基準法第68条の2第1項の規定に基づき、清洲駅周辺地区における建築物等に関する制限を定めることに関し、必要な事項を定めるものです。

第3条では適用する区域を指定し、第4条では区域をA、Bの2つの区域に分け、それぞれ規制する建築物について示しております。

第6条においては、地区内の建築物は原色を避け、町並みとの調和に配慮した落ち着いたものとし、華やかな色彩は避けるものとします。

第7条においては、道路及び公園に面する垣または柵は、生け垣、あるいは透視可能なフェンス、鉄柵等とするものです。

第11条として、第4条及び第7条の規定に違反した場合に罰則規定を設けます。

附則といたしまして、この条例は、令和4年7月1日から施行するものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどお願いいたします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

白井委員。

白井 章委員

白井です。

第7条で垣根、または柵の構造の制限ということがありますがけれども、生け垣、またはブロック塀などの透視不可能なものは設置してはならないという条例になっていますけれども、この地区で現在そういうものがある場合はどのようなことになるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

既存の建物につきましては、提出議案のほうの7ページ、第5条、こちらについて記載がしてあるんですが、既存建物についてはそのまま、ただ、建て替えるときにこの基準にのっとって

ただくような形になります。

以上です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

白井委員。

白井 章委員

これからやるものは駄目だけど、今のものはいいですよということですね。

分かりました。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかにございませんか。よろしいですか。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

ちょっと教えてください。

B地区のところですけど、結構広範な範囲になってまして、第2種住居になってます。このエリアの現状の用途地域って第2種なんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

長谷川です。

現状はA地区も含めまして第1種住居地域になっています。一部工場があるところは工業地域ですが、あとは第1種住居地域です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

これは要するに利活用しやすくなるけれども、用途の制限の中にあるようなものは制限をかけて、利活用は今よりもしやすくなるけれども、これを見ると風俗営業とか、そういった関係のものは遠慮してくださいという駅前にしたいという理解でいいでしょうか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

長谷川課長。

建設部次長兼都市計画課長（長谷川 久高君）

そのとおりでございます。

まちづくりを進める上で建物を誘致したりという用途を緩和するような方向なんです、やはり規制をすることで駅前にふさわしい町並みにしたいというような意図でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかにございませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは、これで質疑を終わります。

議案第9号 清須市名古屋都市計画清洲駅周辺地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例案について採決いたします。

原案に賛成の方挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ありがとうございます。

全員賛成であります。

よって、議案第9号 清須市名古屋都市計画清洲駅周辺地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

あと2議案ございますが、どうしましょう。続けてよろしいですか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

続けて参ります。

議案第22号 市道路線の認定について説明をお願いいたします。

松村建設部次長兼土木課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

別冊の令和3年度市道路線の認定（議案・調書・図面） 愛知県清須市をお願いいたします。

表紙を1枚はねていただきまして、議案第22号 市道路線の認定について。

市道路線の認定をすることについて、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和4年2月24日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、開発に伴う帰属及び国からの譲与に伴い、市道路線の認定をする必要があるからです。

1枚はねていただきますと、今回認定いたします路線が掲載されてあります。

認定路線といたしまして、路線番号2366 大山1号線と路線番号4675 小松生7号線の2路線でございます。

3ページには認定路線位置、概要図を載せておりまして、1枚はねていただきました4ページ、5ページに詳細図1、2でございます。

内容といたしましては、詳細図1で新川地区で国からの譲与及び詳細図2のほうで春日地区で、開発に伴う帰属による道路の認定でございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

新川地区のほうは国からの譲与ということなんですが、この道というのは詳細を見て分かりにくいんですけど、この譲与を受けますと、この先にまた市道があるということですか。この先また赤道じゃないですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

市道等はありませんけど、個人地があるような格好になっております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

個人の土地に市の道路が行き止まりの形でつく格好なんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

現状はそのようになります。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

市にとってのメリットというのは何ですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

メリットというか、赤道の譲与のときに掲載が漏れておりましたので、今回改めて譲与を申請していただいたということになります。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

メリットというのは何です。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

メリットとしましては、ここに接道する宅地等が利活用が可能になるかということだと思います。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

将来的にその先の道も市として買い上げるということが計画にあるんですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

今のところ計画的にはございません。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

ないが、行き止まりの道を譲与を受けたと。そこをこれから市が整備していくわけだね。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

道路としての形状はできておりますので、整備は今のところないということでございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

伊藤委員。

伊藤 嘉起委員

今後もこのような赤道の譲与があれば、市は積極的に市道に変えていくということによろしいですね。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

記載漏れとか譲与漏れがあればそのようにやっていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかにございませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは、これで質疑を終わります。

議案第22号 市道路線の認定について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ありがとうございます。

全員賛成であります。

よって、議案第22号 市道路線の認定については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

お昼になりますが、引き続き、委員会のほうを進めさせていただきます。

次に、議案第23号 令和3年度清須市一般会計補正予算（第12号）案所管分について説明をお願いいたします。

前田新清洲駅周辺まちづくり課長。

新清洲駅周辺まちづくり課長（前田 敬春君）

新清洲駅周辺まちづくり課長の前田です。

議案第32号について、建設文教常任委員会建設部所管分を御説明いたします。

令和3年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書の5ページをお開きください。

第2表 繰越明許費補正です。

8款土木費、2項道路橋梁費、事業名 道路維持補修事業5千550万円、アンダーパス冠水対策事業2千464万円。

繰越理由につきましては、道路維持補修事業については県に委託している工事の施工に不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難であるためです。

また、アンダーパス冠水対策事業については、世界的な半導体不足により、機器の製造ができないためです。

続きまして、4項都市計画費、事業名 土地区画整理事業補助金6千405万円、土地区画整理事業4億918万7千円。

西市場廻間線等整備事業1億9千610万1千円、下本町丸之内線等整備事業8千341万円。

繰越理由につきましては、権利者との交渉に不測の時間を要したことにより、年度内での業務完了は困難となったためです。

続きまして、7ページをお開きください。

第4表 地方債補正です。

起債の目的及び限度額で、2行目で道路等整備事業、補正前限度額1億6千600万円、補正後限度額1億2千800万円、3千800万円の減額です。

続きまして、清洲駅前土地区画整理事業、補正前限度額2億6千300万円、補正後限度額2億4千200万円、2千100万円の減額です。

続きまして、歳入について御説明いたします。

16ページ、17ページをお開きください。

15款国庫支出金、2項国庫補助金、5目土木費国庫補助金、補正額1億417万3千円の減額、1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金です。主なものは、1節のうち社会資本整備総合交付金（道路事業）3千875万6千円の増額、2節のうち社会資本整備総合交付金（道路事業）で4億9千933万7千円の減額です。

続きまして、16款県支出金、1項県負担金、3目土木費県負担金、補正額2千151万2千円の減額、1節土地区画整理費負担金です。

続きまして、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金、補正額94万9千円の減額、1節農業費補助金で、建設部所管は単独土地改良事業補助金72万円の減額及び多面的機能支払事業補助金30万9千円の減額です。

同じく、6目土木費県補助金、補正額1千83万7千円の減額は1節道路橋梁費補助金と2節都市計画費補助金です。主なものは、1枚はねていただきまして、18、19ページをお開きください。あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金で190万8千円の減額です。

1枚はねていただきまして、20、21ページをお開きください。

21款諸収入、5項雑入、2目雑入、補正額1千731万2千円の減額のうち建設部所管は、7節土木費雑入744万5千円の減額です。

続きまして、22款市債、1項市債、2目土木債、補正額5千900万円の減額は、1節道路橋梁債と2節都市計画債でございます。

続きまして、歳出について御説明させていただきます。

30、31ページをお開きください。

上から2つ目の表で6款農林水産業費、1項農業費、4目農地費、補正額466万1千円の減額、12節委託料と18節負担金、補助及び交付金で、県補助金及び負担金の減額に伴う土地改良費の事業精査によるものです。

1枚はねていただきまして、32、33ページをお開きください。

8 款土木費、1 項土木管理費、1 目土木総務費、補正額 9 万 7 千円の減額、8 節旅費で、コロナ禍により研修が中止になったためでございます。

続きまして、2 項道路橋梁費、2 目道路維持費、補正額 1 千 5 6 万円の減額、1 2 節委託料で、主なものは道路維持補修費で、愛知県の事業推進に合わせて減額するものです。

同じく、3 目道路新設改良費、補正額 1 千 8 5 6 万 5 千円の減額、1 0 節需用費から 2 1 節補償、補填及び賠償金までで、主なものは、市道西田中蓮池線等整備費で、県補助金の減額に伴う事業精査によるものです。

同じく、4 目橋梁維持費、補正額 3 2 8 万円の減額、1 2 節委託料で、こちらは点検方法の変更によるものです。

同じく、5 目橋梁新設改良費、補正額 3 1 0 万 6 千円の減額、1 2 節委託料で、白弓橋整備費の事業精査によるものです。

続きまして、4 項都市計画費、1 目都市計画総務費、補正額 1 千 2 2 4 万 2 千円の減額、1 2 節委託料と 1 8 節負担金、補助及び交付金で、事業費の精査によるものです。

同じく、2 目土地区画整理費、補正額 4 千 3 9 3 万 7 千円の減額、1 8 節負担金、補助及び交付金と 1 枚はねていただきまして、3 4、3 5 ページをお開きください。2 1 節補償、補填及び賠償金で、主なものは道路整備事業負担金で、国庫補助金の減額に伴う事業精査によるものです。

同じく、4 目鉄道高架費、補正額 1 億 3 千 5 2 3 万 7 千円の減額、1 1 節役務費から 2 1 節補償、補填及び賠償金までで、国庫補助金の減額に伴う事業精査によるものでございます。

建設文教常任委員会建設部所管分の説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ありがとうございます。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

飛永委員。

飛永 勝次委員

飛永です。

3 2、3 3 ページの橋梁維持費のところなんですけど、今の御説明の中で点検方法を変更しましたということでしたけども、点検費、市内の橋の点検ですね。何か所の橋の点検があつて、ど

のような方法がどのように変更されたのか教えていただけますか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

土木課、松村です。

令和3年度につきましては、4つの橋の点検を行いました。そのうち新川に架かっている国道22号線の近くの阿原橋とUFJ銀行の下にあたる桃山橋というところの橋なんですけども、ここで点検車両で点検をする予定だったんですけども、橋の幅が狭くて点検する車両が入らないということで点検方法を人力に変えたりだとか、車両を小型のものに変えたということで委託費が下がったということで減額をさせていただいている状況でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

ということは、点検制度そのものは変わりはないという認識でいいですか。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

松村課長。

建設部次長兼土木課長（松村 和浩君）

松村です。

そのとおりでございます。点検については全く変わらなくやらさせていただいております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

飛永委員。

飛永 勝次委員

効果的な事業が推進できたという理解でいいですね。

ありがとうございました。

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

ほかにございませんか。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（富田 雄二君）

それでは、これで質疑を終わります。

以上で、建設文教委員会に付託されました建設部所管の議案についての審議は終了いたしました。

明日、午前9時30分から教育委員会所管について御審議いただきますので、よろしく願いいたします。

これをもちまして本日は散会いたします。

早朝より御苦労さまでございました。

（ 時に午後 0時09分 散会 ）

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和4年3月10日

建設文教委員会委員長 富田雄二